

今保育園では、節分に向けて各クラスそれぞれに味のあるお面を作って飾ったり、お面をかぶって“♪おにだぞ、お～にだぞ！ わ～るい子はい～ないか”と各クラスや事務室などにやって来ています。うさぎ組さんたちは、おにがとっても気に入っているようで、飾ってあるオニを指さして“オニ”“オニ”と言っている姿がかわいいです。

2月1日の節分当日は保育園に待望の？鬼がやってきます。子どもたちと豆まきをして、無病息災を祈りたいと思います。



### 命のはなし

子どもたちに、命が生まれてくることの素晴らしさと、その命を大切にしてほしいという思いから、今年度もぞうぐみの子どもたちを対象にした「命のはなし」を、助産師でどんぐり0Bの山形さんに行っていました。

はがき大の黒画用紙に針で穴をあけたものが手渡され、「この小さな穴、自分の最初の体だよ」と教えてもらうと「こんなにちいさいの」と驚いている子どもたちです。

このあかちゃんが少しずつ大きく、重くなった実物大のモデルを見せてもらいながら、実際に抱っこし、あかちゃんの重さを感じとっていた子どもたちでした。

子どもたちは、「生まれてくるときあかちゃんが一番がんばったんだよ」「あかちゃんは最初こんなに小さかったんだ」ということをお家の人に伝えたり、けいじくんは、この話を通して、お母さんに見せてもらったへその尾を見て「僕たちの宝物だね」と言っていたそうです。それぞれに体験してきたことを話してくれたり、そうでなかったりもあったと思いますが、子どもたちの心に「命の大切さ」が伝わったと思っています。



### /// 山形さんから子どもたちへのメッセージ ///

- ・一人ひとり、待ち望まれて生まれてきた世界でたった一つの大切な宝物である。
- ・お母さんのおなかの中で10カ月いて、頑張って生まれて来たこと。
- ・命を大切にすること。それは自分自身を大切にすること。
- ・まわりの人のことも大切にすること。



### — 二十歳のつどい —

どんぐり保育園で育ちあった子どもたちと、その親たちが毎年成人のお祝いで、保育園に集ってもらい「二十歳のつどい」を行っています。今年度の様子は玄関に飾ってあるのでまた見て下さいね。子どもたち（当時の）は、それぞれに別の道を歩んだりしていますが、あつという間に当時のぞうぐみの仲間たちにタイムスリップして語り合ったり、近況報告をしてくれます。親たちの、当時の保育園時代の思い出話や、その後の子どもたちのこと、自分たちの近況報告など楽しい話がいっぱいです。子どもたちは、それぞれに、夢や希望を持ち、恋愛をしていたり、いまはしてない…等々、どの子も懸命に今を生きている…そんな爽やかな空気が伝わってくる会でした。